

主催：多様化する嗜癖・嗜虐行動からの回復を支援するネットワーク(ATA-net)
共催：一般社団法人「もふもふネット」

「性問題行動への治療教育的アプローチ ～これまでの10年、これからの10年」



子どもたちの性被害・性加害をなくすために私たちにできること

日 等：2018年12月24日(月)10:00～16:30

場 所：大阪大学中ノ島センター10F佐治敬三メモリアルホール

参加費：無料(定員100名)

申込み：右下のQRコードを読み込み、
フォームよりお申込みください。
(キャンセルも同場所から可能です)

問合せ：m-mori@he.hirokoku-u.ac.jp
(広島国際大学：毛利：QRコードを読み
込めない方はメールでのお申込みも
可能です)



この事業は、社会技術開発研究センター (RISTEX) の助成を得ています。

大阪府子ども家庭センターで性問題行動を持つ子どもとその保護者に対するグループワークによる治療教育プログラムが開始されたのは、2008年です。10年を経て、昨年ATA-netでは、「性暴力行動に対する治療的介入の現状と課題」についての全国調査を実施しました。

今回、ATA-netの主唱する「えんたく」という多様な声を響かせる対話のための手法を用いて、子どもたちを性被害・性加害行動から守るためにこの10年の試みを振り返り、これからの10年のについて、みなさまと意見を分かち合いたいと思います。児童相談所など児童福祉に関わる方々を始めとして、子どもたちの健康な発達と暮らしに関心のある市民のみなさまのご参加をお待ちしています。

- 10:00～10:30 ATA-netとえんたくについて 石塚伸一(龍谷大学教授)
- 10:30～12:00 これまでの10年とこれからの10年「報告と対談」
浅野恭子(大阪府立障がい者自立センター所長)
野坂祐子(大阪大学大学院准教授)
藤岡淳子(大阪大学大学院教授)
- 13:00～14:30 リフレクティング・トークによるえんたく
グループ1(進行:野坂):これからの人たち(児童相談所、児童自立支援施設、学校等関係者)
グループ2(進行:毛利):経験者たち(プログラムスタッフ、保護者、実施施設長等)
- 14:45～16:15 全体でえんたく(進行:藤岡)

参加資格はありません。
事前申し込みをすればどなたでもご参加いただけます。

